

NEXT Logistics Japan、 物流ソリューション事業の成長に向けた資金調達を実施

～量子コンピュータを活用した物流最適化ソリューションシステム『NeLOSS』、ダブル連結トラック等
高効率輸送スキームの構築を加速～

NEXT Logistics Japan 株式会社(本社 東京都、代表取締役社長 梅村幸生、以下 NLJ)は、このたび、国土交通省所管の独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JRTT)、住友商事、アサヒグループジャパン、岡通ホールディングス、みずほキャピタル、三菱 UFJ キャピタル、未来創造キャピタルから、事業成長に向けた初の本格的な資金調達「シリーズ B ラウンド」※¹を実施しました。なお、アサヒグループジャパンは前回のシリーズ A ラウンド※²に続き、追加出資となります。

NLJ は、2018 年の設立以来、荷主や物流事業者、リース/金融機関など、さまざまなステークホルダーからの出資を受け、強固なパートナーシップを築きながら、取り組みの輪を広げてきました。今回の資金調達は、これまで培ったダブル連結トラックを活用した幹線・混載共同輸送のノウハウをさらに進化させ、また量子技術を活用した物流最適化ソリューションシステム「NeLOSS」の開発を一層推進することを目的としています。

今後もオープンな取り組みを拡げ、事業を加速させていくために、引き続き資金調達を実施していきます。

※¹ 投資家がスタートアップに対して投資を行う段階。B は製品やサービスについて評価いただき、事業拡大および新技術開発を加速させる段階

※² A は、ビジネスを開始した直後の段階

NEXT Logistics Japan 資金調達

※アサヒグループジャパンは、シリーズAに続き、シリーズBラウンドでも追加出資



鉄道・運輸機構



住友商事
Enriching lives and the world



Asahi GROUP



Logistics Go to the next stage
OKATSU HOLDINGS



MIZUHO
みずほキャピタル



MUFG
三菱UFJキャピタル



未来創造キャピタル
Future Creation Capital



NeLOSS

日本全国の物流ネットワーク

削減率
80%
CO₂削減率
35%

■ 資金調達背景・目的

NLJ は物流 2024 年問題をはじめとした「モノが運べなくなる」という社会課題の解決に向け、幅広い荷主企業や物流事業者とともに、高効率輸送スキームの構築を推進しています。今回調達した資金は、持続可能かつ生産性の高い物流の実現に向け、物流最適化ソリューションシステム『NeLOSS』（ネロス）の開発・外部ユーザーによる活用の推進および、ダブル連結トラックの追加導入に使用することで、2024 年問題の解決や物流の効率化を目指します。

(1) 物流最適化ソリューションシステム『NeLOSS』

NeLOSS は、主に人の知識や経験に基づき、時間をかけて行ってきた配車と荷物の組み合わせを割り出す複雑な業務について、量子コンピュータを利用することで、短時間で自動的に最適解を算出することを可能にしました。緻密かつ高い積載率を実現する運行計画の策定が可能となることに加え、業務時間の大幅な短縮と省人化を実現することで、物流業界が抱える労働者不足問題にも有効な解決策を提供します。

今後、NeLOSS のさらなる開発を進めるとともに、外部ユーザーの活用を促進することで、物流業界の効率化を支援し、業界全体の競争力向上を目指します。

(2) ダブル連結トラック

今後見込まれる、トラックドライバー数の減少^{※3}、および残業時間上限導入により生じるトラック輸送力の低下^{※4}への対応と、CO2 排出量削減目標^{※5}を達成するために、ドライバー1 人当たりの輸送力強化が求められています。NLJ は、この状況を踏まえ、複数社の荷物を組み合わせる共同輸送でトラックの積載率を向上させることに加え、ダブル連結トラックを活用して 1 運行当たりの輸送量を拡大することで、ドライバー1 人当たりの輸送力を強化し、より少ないドライバーとトラックでより多くの荷物を運ぶスキームを実現しています。

今後も、輸送力強化および CO2 排出量削減、省力化を追求し、本スキームの拡大をさらに推進してまいります。

^{※3} 「ドライバーが 2030 年に 2015 年比で 3 割減」（公財）日本ロジスティクスシステム協会

^{※4} 「2030 年には全国の約 35%の荷物が運べない」（株）野村総合研究所『トラックドライバー不足時代における輸配送のあり方』（2023 年 1 月）

^{※5} 「運輸部門は 2030 年に 2013 年比で 35%削減」地球温暖化対策計画（2021 年 3 月閣議決定）

■ 資金調達に参画した各社のコメント

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 藤田耕三 理事長

当機構では、物流分野における DX・GX による効率化や環境負荷の低減を図る取り組み等に対して、財政融資を活用した融資を通じて支援を行っています。NLJ によるダブル連結トラックの増備は、上記に資する取り組みであると評価し融資をさせていただきました。

住友商事株式会社 土田貴之 商用車事業ユニット長

住友商事グループでは、「Enriching lives and the world」をコーポレートメッセージとして掲げ、持続可能な社会の実現と豊かなくらしづくりを目指して世界各国で事業を展開しています。2024 年問題を始めとする国内物流業界の課題解決に向けた NLJ の志、取り組みに当社は賛同し、業種の垣根を超えたパートナー企業と共に、持続可能な物流の実現とモビリティ社会の構造改革の推進に向けて、積極的に貢献していきたいと考えています。

岡通ホールディングス株式会社 天野保弘 代表取締役 CEO

弊社は、愛知県三河地方を基軸とした物流業界における長年の経験を活かし、今回の出資を機にコアメンバーとして NLJ 事業に積極的に参画いたします。労働力不足への対応、ドライバーの社会的地位と生活水準の向上、カーボンニュートラルへの対応など物流業界における社会的課題の解決に向け、NLJ の取り組みに大きな期待を寄せています。NLJ に参画するパートナー企業のみならずとともに、量子コンピュータや自動運転技術の活用などを通じて、次世代につながる持続可能な物流を目指してまいります。

みずほキャピタル株式会社 半田邦雄 代表取締役社長

みずほキャピタルは、みずほグループのベンチャーキャピタルとして、グループの総合金融力、顧客基盤をフルに活用し、お客さまの成長支援を行っています。NEXT Logistics Japan 社は、パートナー各社と一体となって物流業界の課題解決に取り組んでおり、今後、企業物流業界の旗頭になると大いに期待しています。

大きな挑戦となりますが、みずほグループの総力を挙げ、ステークホルダーの皆さまと共に社会課題解決に取り組んでまいります。

三菱 UFJ キャピタル株式会社 小島拓朗 代表取締役社長

弊社は MUFG グループのベンチャーキャピタルとして、NLJ 及びそのパートナー各社と共に、高効率輸送スキームの構築によって物流業界の課題解決を図り、あわせて事業価値の向上を促進することを目的として、今回出資をさせて頂くことといたしました。

本出資を通じ、NLJ 及び NLJ パートナーの皆様と共に知見・ノウハウを結集し、社会課題解決と事業価値向上に向けた取り組みに、貢献して参ります。

未来創造キャピタル株式会社 竹内信房 代表取締役

当社が運営するみずほリース株式会社 CVC ファンドを通じて、NLJ 様に出資参画できる機会を得たことを大変嬉しく思っております。物流業界の課題に正面から向き合う NLJ 様の熱意と、量子コンピューティング技術を用いた革新的な物流最適化ソリューションと、さまざまな企業とのパートナーシップを通じたお取り組みによって、生産性高く環境負荷が抑制された物流業界が構築されていくことを大いに期待しております。

■NLJ 代表取締役のコメント

この度の資金調達には、持続可能で生産性の高い物流の実現を目指す当社の成長を大きく加速させるものです。今後も、より効率的で生産性の高い物流ソリューションを提供するため、技術革新に加え、仕組みや枠組みの構築をさらに推進してまいります。各社のご支援に心より感謝申し上げますとともに、日本経済を支える物流業界を、共により魅力的・発展的なものにしていくために全力を尽くしてまいります。

■NLJ の取り組みと目指す姿

「ドライバー不足の解消」、「カーボンニュートラル」、「ホワイト物流の実現」といった社会課題の解決を目的にトヨタグループのメンバーを中心に設立されました。現在は、この3つの社会課題に対し、リアルな輸送の最大効率化を追求しつつ、最新のテクノロジーを実装し、資本参加するパートナー企業^{※6} や NLJ の取り組みに賛同する NLJ Plus+メンバー企業^{※7} と共に仕組みと枠組み作りを進めてきました。また、経済産業省主催「デジタルライフライン 全国総合整備実現会議 自動運転支援道」事業のメンバーとして、自動運転の推進にも取り組んでいます。

※6 アサヒグループジャパン株式会社、江崎グリコ株式会社、株式会社ギオン、株式会社キューソー流通システム、鴻池運輸株式会社、澁澤倉庫株式会社、鈴与株式会社、住友ゴム工業株式会社、撰津倉庫株式会社、千代田運輸株式会社、トランコム株式会社、株式会社ニチレイロジグループ本社、日清食品ホールディングス株式会社、日本梱包運輸倉庫株式会社、日本製紙物流株式会社、日野自動車株式会社、株式会社ブリヂストン、三菱 HC キャピタル株式会社、株式会社三菱 UFJ 銀行、株式会社ユーネットランスの既存株主 20 社。

※7 当社に出資するパートナー企業と共に培ってきた物流最適化のソリューションについて、出資を伴わずに年会費で活用いただける枠組み

<問い合わせ先>

NEXT Logistics Japan 株式会社 経営企画本部 経営企画・管理 Div. TEL:03-6911-1691

以上